

ISSN 0910-9757

# Bulletin Annuel d'Etudes Françaises

——年報・フランス研究——

41



2007

アポリネールの散文作品における笑い

——短篇作品「虐殺された詩人」を中心に—— ……………伊勢 晃…… 1

La problématique du « mariage d'amour »

dans *Horace* de George Sand ……………稲田 啓子… 13

「子ども」をめぐる光と影

——ヴァレリー・ラルボーの場合—— ……………瓜生 濃世… 27

エメ・セゼール『帰郷ノート』、内観と自立の過程 ……小松 正道… 41

『地獄の季節』最終篇「別れ」における敗北と勝利 ……田中 直紀… 55

オペレッタにみるフェミニズム

——大衆芸術の新しさ—— ……………吉川佳英子… 69

主語の性質を表す -ment の副詞と avec N ……………西井 研二… 83

Qui est charmante? と Qui est la charmante? の

語用論的機能の違い……………藤田 康子… 93

挿入節における動詞の直接目的補語非表示……………山本 香理… 107

## 『年報フランス研究』執筆規定

### 1 執筆資格

- 1) 関西学院大学文学部フランス文学フランス語学専修専任教員・非常勤教員・元専任教員
- 2) 関西学院大学文学部フランス文学フランス語学専攻の大学院生・元大学院生

2 執筆内容           : 論文, 研究ノート等

### 3 募 集

応募方法           : 『『年報フランス研究』執筆申し込み書』による  
募集期間           : 5月1日～5月31日  
申し込み先       : 関西学院大学文学部フランス文学フランス語学専修内  
                      『年報フランス研究』担当教員  
採       否       : 受理するか否かはフランス文学フランス語学専修会議が決定する

### 4 原 稿

様     式       : ワープロ（原稿作成要領を参照のこと）  
枚     数       : 和文：35桁28行13枚以下  
                  仏文：半角70桁34行13枚以下  
                  （400字詰原稿用紙30枚相当）  
締 切 日       : 11月30日  
提 出 先       : 関西学院大学フランス文学フランス語学専修内  
                  『年報フランス研究』担当教員  
採       否       : 原稿の採否はフランス文学フランス語学専修会議が決定する

5 発行の日付       : 12月25日

アポリネールの散文作品における笑い

——短篇作品「虐殺された詩人」を中心に—— ……………伊勢 晃…… 1

La problématique du « mariage d'amour »

dans *Horace* de George Sand ……………稲田 啓子… 13

「子ども」をめぐる光と影

——ヴァレリー・ラルボーの場合—— ……………瓜生 濃世… 27

エメ・セゼール『帰郷ノート』、内観と自立の過程 ……小松 正道… 41

『地獄の季節』最終篇「別れ」における敗北と勝利 ……田中 直紀… 55

オペレッタにみるフェミニズム

——大衆芸術の新しさ—— ……………吉川佳英子… 69

主語の性質を表す -ment の副詞と avec N ……………西井 研二… 83

Qui est charmante? と Qui est la charmante? の

語用論的機能の違い……………藤田 康子… 93

挿入節における動詞の直接目的補語非表示……………山本 香理… 107

## 関西学院大学フランス学会規約

第1条 本会の名称は関西学院大学フランス学会とする。

第2条 本会の事務所は関西学院大学フランス文学フランス語学専修研究室に置く。

第3条 本会の会員には次の者がなれる。

1. 正会員

a. 関西学院大学フランス文学フランス語学専修の専任教員と卒業生。

b. 関西学院大学大学院フランス文学フランス語学専攻の学生と卒業生。

2. 推薦会員

第3条1項以外の者で、本会の委員会の推薦を得て、総会により承認されたもの。

第4条 本会は会員相互の協力によりフランス語及びフランス文学の学問的研究と、研究成果の交流を目的とする。

第5条 本会は前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 研究会の開催。2. 研究機関誌の

発行。3. その他の必要な事業。

第6条 本会に会長及び編集、会計、会計監査の各委員を置く。会長はフランス文学フランス語学専修の主任教授がこれに当り、各委員は会員中より互選する。

第7条 会長及び各委員は委員会を構成する。

第8条 本会の研究機関誌の編集責任はフランス文学フランス語学専修の専任教員が負う。

第9条 本会の総会は年一回以上開催し、委員の選出、会計報告の承認、重要事項の議決を行なう。

第10条 本会の総会は大学院学生会員と専任教員会員の過半数の出席により成立する。

第11条 本会の運営は会員の会費（年額1,000円）及び有志よりの寄付金を以てこれをなし、会計報告は総会で会計委員が行う。

第12条 本会の会則は委員会と総会の3分の2の賛成を得て改正される。

---

## 年報・フランス研究 41

発行所

関西学院大学フランス学会

発行者 オリヴィエ・ビルマン

〒662-8501 西宮市上ヶ原一番町 1-155

関西学院大学  
フランス文学フランス語学専修研究室内

電話 0798-54-6220（直通）

2007年12月20日 印刷

2007年12月25日 発行

印刷所

協和印刷株式会社

京都市右京区西院清水町13

---

